

Syllabus ID	122616
Subject ID	122007140
更新履歴	20120321新規
授業科目名	選択外国語英会話
担当教員名	マーク・コキオ
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履習単位
必修／選択	選択
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義及びロールプレイ
実施場所	第2視聴覚教室

#### 授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

『英語によるオーラルコミュニケーション(話す・聞く)の向上』という目標を達成するため、ネイティブ講師のオール・イングリッシュの授業を通して、授業目標に掲げた5項目の技術要請を図る。その手段としては、とにかくネイティブ講師による英語のシャワーをたくさん浴び、講師に対して、またペア・ワークやグループ・ワークの際のクラスメートに対し、自分の持てる最大限の知識と技術、時には身振り手振りを駆使して、英語で意思疎通を図ることに徹する。その題材としては、ネイティブ講師の授業用に開発された総合的英語テキスト『American English File 2』を使用する。また適宜、オリジナルのプリント等を使用していく。

#### 準備学習(この授業を受講するとき前提となる知識)

- ① 中学3年レベルの文法知識(関係代名詞・関係副詞はリスニング時のみ必要)
- ② 高校1～2年レベルまでの語彙力と、知らない単語でも前後関係によって推察できる洞察力
- ③ 知らない単語を辞書等で調べることが出来る能力
- ④ 『とにかく英語でコミュニケーションしたい!』という意欲

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査	行いません。
---------------	--------

#### 授業目標

次の5項目の技術や態度の養成。ただし、これまでの生徒各個人の英語学習に関わる環境やバックグラウンドの違いにより現在持てる能力が千差万別であるため、全体としての具体的な目標は掲げない。少しでも『以前より英語がしゃべる様になった!』という実感が持てれば成功とする。

- ① 英語のネイティブ話者に対し、物怖じせず意思疎通を図ろうとする態度。
- ② 文法の間違いや日本人的な発音を気にせず意思の疎通を図ろうとする態度。
- ③ ネイティブの会話を、会話の流れのままにその場で理解し、理解できないときには聞き返しが出来る能力。
- ④ 最低限通じるための発音の能力。
- ⑤ 既に身につけているであろう中学3年レベルの文法知識と語威力を駆使し、読める・書けるを聞ける・話せるへと転換させる能力。ただし、関係代名詞と関係副詞の知識はリスニング時のみ必要。

#### 授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	講師・生徒の自己紹介等とテキストの概要説明	
第2回	UNIT 1	Who's who?	
第3回	UNIT 1	Who's who?	
第4回	UNIT 1	Who's who?	
第5回	UNIT 2	Right place, wrong time	

第6回	UNIT 2	Right place, wrong time	
第7回	UNIT 2	Right place, wrong time	
第8回	UNIT 3	Where are you going?	
第9回	UNIT 3	Where are you going?	
第10回	UNIT 3	Where are you going?	
第11回	UNIT 4	From rags to riches	
第12回	UNIT 4	From rags to riches	
第13回	UNIT 4	From rags to riches	
第14回	復習	UNIT 1～4の復習	
第15回	UNIT 5	Are you a party animal?	
第16回	UNIT 5	Are you a party animal?	
第17回	UNIT 5	Are you a party animal?	
第18回	UNIT 6	If something bad can happen, it will	
第19回	UNIT 6	If something bad can happen, it will	
第20回	UNIT 6	If something bad can happen, it will	
第21回	UNIT 7	Famous fears and phobias	
第22回	UNIT 7	Famous fears and phobias	
第23回	UNIT 7	Famous fears and phobias	
第24回	UNIT 8	I hate weekends!	
第25回	UNIT 8	I hate weekends!	
第26回	UNIT 8	I hate weekends!	
第27回	UNIT 9	What a week!	
第28回	UNIT 9	What a week!	
第29回	UNIT 9	What a week!	
第30回	復習	UNIT 5～9の復習	
第31回			
第32回			
第33回			
第34回			

#### 課題

必要に応じて随時実施

#### 評価方法と基準

##### 評価方法:

授業参加態度50% 授業参加率50%

##### 評価基準:

教科書等	American English File 2
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。